

S F A 第 9 回 U-10 サッカー選手権大会
第 9 回 井原正巳杯 少年サッカー大会 [滋賀トヨタカップ]

大 会 要 項

1. 主 旨

少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに 8 人制サッカーの底辺拡大につとめる。

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 主 催 公益社団法人滋賀県サッカー協会

3. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会 4 種委員会

4. 協 賛 株式会社滋賀トヨタ

5. 日程・会場

ブロック予選 : 9月～12月 湖西・湖南・湖東・湖北・甲賀各ブロック

開会式 : 2026年1月12日(月) 守山市民ホール

トーナメント戦 1 回戦 : 1月17日(土) 2 回戦～準々決勝 : 18日(日)

準決勝・3 位決定戦・決勝戦 : 1月25日(日)

試合会場 : 野洲川歴史公園サッカー場<ビッグレイク> 守山市服部町2439番地

6. 県大会出場チーム数 湖西 9 湖南 5 湖東 10 湖北 4 甲賀 4 合計 32

7. 組み合わせ 開会式で抽選を行い決定する。

8. 参加資格

- 1) 参加チームは、当年度に J F A に加盟登録し、単一のチームとして年間を通じて継続的に活動していること。
- 2) 参加選手は上記加盟チームに選手登録し、そのチームを主たる活動場所とする者で小学校 4 年生以下であること。
- 3) ひとつの団体から複数のチームが出場する場合、全てのチームにおいて、夫々必ず 1 名以上、その大会の対象学年の選手を登録しなければならない。
- 4) 試合当日、参加選手は顔写真が確認できる選手証(電子版可)を保持し、必要時に提示すること。
- 5) ブロック予選から上位大会に至るまでに、同一選手が異なる加盟チームに移籍して再び参加することはできない。
- 6) 参加チーム及び選手は、各ブロック予選を勝ち抜いたチーム・選手とする。
- 7) 参加チームは、本大会の全ての日程に無条件で参加できるよう、予め学校や地区行事等との調整しておくこと。
- 8) チームの指導者は責任を持ってチームを掌握指導できる成人であること。 また、内 1 名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認指導者資格(D 級コーチ以上)を有すること。 なおベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う指導者は、全員がサッカー D 級コーチライセンス以上を有していること。
- 9) チーム代表者は、選手が心身ともに健康で大会への参加に問題がないことを、事前に保護者等に確認しなければならない。(参加承諾等を書面で確認することが望ましい)
- 10) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

9. 参 加 費 5,000 円

10. 大会形式 32 チームによるトーナメント方式とする。

11. 競技規則 大会開催時に適用の公益財団法人日本サッカー協会の規約・規程・競技規則に則る。
参照URL <http://www.jfa.jp/documents/>

12. 競技会規定【以下の項目については本大会の規定を定める】

1) 競技のフィールド

フィールドの大きさは 68m×50m を基本とし、その他のマーク等は 8 人制サッカー競技規則に則る。

2) 試合球は、4 号球を使用する。

3) 競技者の数および交代

- ① 1 チーム 8 人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち 1 人はゴールキーパー(以下 GK)とする。試合開始時に競技者が 8 人に満たない場合は不戦敗とし、0 対 3 で相手チームの勝利とする。試合中、怪我等による人数不足により競技者が 8 人未満になった場合は、そのまま試合終了まで続行する。
- ② 登録できる交代要員および交代の最大人数は制限しない。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ③ 自由交替制とし、インプレー中も自由に交代できる。交代の際は、交代ゾーンで明確に入れ替わること。ただし GK は主審の許可を得て試合中断時に交代すること。GK が交代で退く際は、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならぬ。

4) 競技者の用具

- ① スパイクシューズを使用する場合は、ポイントが固定式で、金属が露出していない安全な物であること。
- ② 試合当日、参加チームは登録した正副両方のユニフォームを用意すること。(ビブスによる対応は認めない)
- ③ 選手番号については「参加選手」ごとに本大会に登録された固有の番号を使用すること。ただし、GK の負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤー(以下 F P)が GK に代わる場合については、その競技者固有の番号の表示を義務付けるものではない。
- ④ ユニフォームに番号を取り付ける場合は、容易に破損しない布地を使用し、全周囲を途切れることなく縫い付けること。四隅のみの縫い付けや、安全ピン・ホック・ボタン等の使用は認めない。
- ⑤ 競技者は、シャツの裾をパンツに入れることが望ましい。審判または大会運営役員からシャツの裾をパンツに入れるよう指示された場合は従うこと。
- ⑥ 特に注意すべき点を以下に示す。【 】内は規定条項または J F A 関連通達名
 - a) 【ユニフォーム規定第 4 条 1 項】ユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒と明確に判別し得るものでなければならない。黒以外に濃紺や深緑も不可となる場合があるので注意すること。
 - b) 【ユニフォーム規定第 4 条 2 項】シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。パンツ及びソックスの前面と背面の色彩は同じでなければならない。
 - c) 【ユニフォーム規定第 4 条 4 項及び 5 項】対戦チームのユニフォームは当事者同士で譲り合って調整すること。調整の際、登録したユニフォームをどのように組み合わせてもよい。なお県大会では、トーナメント表の上位チームが優先して自チームのユニフォームを決定できる。当事者で調整できない場合はその試合の審判員を交えて調整する。審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、パンツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - d) 【ユニフォーム規定第 5 条 (2)】シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄で判読が困難な場合には台地を付ける)であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - e) 【ユニフォーム規定第 5 条 (2)】番号は整数の 1 から 99 を使用すること。0 は認めない。ただしチームの J F A 登録選手が 100 名以上の場合に限り、100 以上の番号を認めることがある。
 - f) 【ユニフォーム規定第 5 条】シャツの背中の部分には、選手名、選手番号、メーカーロゴ以外の表示があってはならない。
 - g) 【ユニフォーム規定第 8 条による特別規定】ユニフォームに広告を表示してはならない。ただし、正規の承認申請を行い、大会開始前に J F A の審査承認を完了した場合は認める。
 - h) GK が着用する膝ガード用サポーターの色は規定しない。
 - i) 【2020年3月18日通達】GK のパンツ、ソックスは F P と同系色でもよい。GK のシャツの色彩は、他の競技者、審判員と明確に判別できるものでなければならない。ビブスによる対応は認めない。
 - j) 【8 人制サッカー競技規則第 4 条】両チームの GK のユニフォームが同色で、両者が他のユニフォームと着替えることができない場合、両チームの GK は同じ色彩でもよい。
 - k) 【2020年3月18日通達】アンダーシャツ・アンダーショーツおよびタイツの色は規定しない。ただしチーム内で同色のものを着用すること。着用するかどうかは統一しなくてよい。同一チーム内で複数の GK が着用する場合は同色とすること。
 - l) 【2020年3月18日通達】ソックステープ等の色は規定しない。
 - m) 【2020年3月18日通達】同一チーム内でユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。

5) テクニカルエリア(ベンチ)

- ① テクニカルエリアに入れる者はエントリー選手全員と指導者2名以上3名以内とする。
- ② その都度ただ1人の指導者のみがテクニカルエリア内から戦略的指示を伝えることができる。
- ③ 選手及び指導者は、必要時以外は常に着席していること。

6) 試合時間

- ① 試合時間は前、後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長することがある。
- ② 必要に応じて、前・後半中程にブレイクタイムをとる。その間は試合時間の計測を中断する。
- ③ 決勝のみ、前後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

7) PK戦について

- ① 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、PK戦により勝者となるチームを決定する。PK戦は3人で行い、4人目以降はサドンデスとする。
- ② PK戦の進行中に、GKが負傷してGKとしてのプレーが続けられなくなったとき、エントリーされている交代要員と交代することができる。
- ③ 上記②の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールド内にいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。
- ④ 上記③の資格のある競技者は、PK戦の進行中に主審の許可を得てGKと入れ替わることができる。
- ⑤ 試合が終了したとき、フィールド内で一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームはPK戦を行う前に相手チームの競技者数と等しくなるように自チームの競技者数を減らさなければならない。主将またはベンチの指導者は、除外するそれぞれの競技者の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって除外された競技者は、PK戦に参加することはできない。

8) 審判

試合は1人の主審と1人の予備審判で運営される。審判員は県協会より派遣する。

13. 懲 罰

- 1) 本大会は、日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、規律・フェアプレー委員会を設ける。
- 2) 規律・フェアプレー委員会の委員長は、滋賀県サッカー協会4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- 3) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- 4) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置は本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。競技者が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間、試合を停止する。
- 5) 本大会の予選(ブロック予選)は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の退場・退席による出場停止処分は、本大会において順次消化する。
- 6) 規定のない事項の懲罰については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。

14. そ の 他

- 1) 本大会の一部の試合において、マッチウエルフェアオフィサーを設置する。チーム責任者は、マッチウエルフェアオフィサーの活動に協力すること。
- 2) 主催者は、大会中の災害・事故・怪我・疾病等についての責任を負わない。防災・防疫対策については、試合会場管理者の指示に従うこと。
- 3) チームの都合による遅刻は認めない。止むを得ない事情により到着が遅れる場合は、必ず大会本部に連絡し、指示を仰ぐこと。事前に遅刻の連絡があった場合、大会本部がその理由や他のチームの都合を考慮して日程調整の可否を検討する。試合開始予定時刻を経過しても到着せず連絡もない場合は、試合放棄による棄権とみなし、0対3で相手チームの勝利とする。それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
- 4) 本大会は「大会要項」「県大会における注意事項」「4種委員会規約及び申し合わせ」に基づき運営する。規定のない事項は大会本部が決定する。
- 5) 大会本部は、悪天候や諸事情により大会を中止または延期する場合、ブロック長を通じてチームに連絡する。

県大会(決勝トーナメント)出場チーム

湖西ブロック代表【9チーム】

唐崎スポーツ少年団サッカー部
 堅田スポーツ少年団サッカー部
 里東フットボールクラブ
 FC. SETA 2002 SHIGA
 和邇フットボールクラブ
 FC西大津SPEELS
 ヴォンゴーレ瀬田フットボールクラブ
 打出フットボールクラブ
 富士見フットボールクラブ

湖北ブロック代表【4チーム】

神照フットボールクラブ
 びわサッカースポーツ少年団
 米原ジュニアフットボールクラブ
 Nagahama Football & Athletic Club

甲賀ブロック代表【4チーム】

大原サッカースポーツ少年団
 Multa Konan fc
 A. Z. R
 アルマ甲賀フットボールクラブ

湖南ブロック代表【5チーム】

矢倉フットボールクラブ
 アミティエ・スポーツクラブ草津
 DCM セントラル シガ
 FC草津
 老上サッカースポーツ少年団

湖東ブロック代表【10チーム】

FCジュニオール滋賀
 リブラ五個荘フットボールクラブ
 北野サッカークラブ
 SV ROHDIA
 玉園フットボールクラブ
 FCアドバンス
 愛知ホワイタスター
 金城ジュニアフットボールクラブ
 能登川フットボールクラブ
 桐原ジュニアFC

トーナメント日程



県大会参加の際の注意事項

1. 試合前

- 1) 出場チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに会場に到着し、速やかに大会本部へ選手証(電子版可)を提出すること。選手証は選手番号順に揃えて提出すること。選手証を提示しない者は参加を認めない。
- 2) 選手と監督は、試合開始45分前までに大会本部受付でエントリーの確認を受けること。監督が代行者の場合はエントリー表の代行者欄に氏名を記入すること。エントリーの確認は毎試合行う。
- 3) 大会エントリー表の写しを各チームで準備し、試合開始30分前までに、先発メンバーに○印を記入して大会本部と対戦相手に提出すること。
- 4) 第1試合のウォーミングアップのためのピッチ使用は、試合開始予定時刻の30分前からとする。第2試合以降のウォーミングアップは定められた場所を使用することとし、試合用ピッチは使用しないこと。ハーフタイムにおいては、次試合のチームのピッチ使用を禁止する。
- 5) 準決勝以降は、試合前にマッチミーティングを行う。監督は正副2種類(フィールド及びゴールキーパー)のユニフォームを携行し、指定された時刻に大会本部へ集合すること。

2. 試合

- 1) ベンチの位置は、ベンチからピッチに向かって左側を組合せ表の上のチーム、右側を下のチームとする。
- 2) ベンチに持ち込む物は、飲料・救急用品・必要最小限の衣類・タオル類・指導者用の携行品のみとし、使用時以外はベンチ後方に置くこと。ボール、バッグ等は持ち込まないこと。
- 3) 給水用の飲料は水・茶のみとする。
- 4) ベンチの控え選手は、ピッチ内の選手と区別できる服装であること。(ビブス等を着用)
- 5) 試合開始前にタッチライン上で審判員による選手チェックを行う。エントリーした選手は全員タッチライン上に整列して待機すること。

3. 観戦・応援

- 1) 観戦や応援はびフェンス外の歩道で行い、大会本部が移動を依頼した場合は指示に従うこと。
- 2) 応援には楽器及び楽器に相当する器具を使用してはならない。

4. その他

- 1) 選手・指導者及びチーム関係者は、審判の判定等に対して絶対に抗議してはならない。試合中、試合後を問わず、いかなる形でも疑義や不服を行動で表すことは禁止する。
- 2) 本大会の配布資料及び動画・画像・音声等(個人所有機器での記録を含む)は、大会のルールに反する目的による複製・配布・譲渡・公開を禁止する。公の上映や無許可の有価販売については、いかなる場合も禁止とする。個人のHP等に公開する場合は、肖像使用許可や個人情報漏えい防止に充分配慮すること。
- 3) 協賛・スポンサー各社の競合他社排除に配慮すること。他社の社名・ロゴ・宣伝コピー・商品名等の表示されたビブス、給水容器、服装、バッグ、チームテント等の使用は可能な限り避けること。
- 4) コート内への立ち入りは、選手・指導者・大会運営役員及び契約カメラマンのみ許可する。
- 5) 忘れ物がないように注意すること。貴重品以外の忘れ物は当日の後片付けの際に処分する。
- 6) 指定場所以外での喫煙は禁止とする。
- 7) **会場付近の路上や私有地に絶対に駐車しないこと。違反車両に対しては厳格に対応する。**
- 8) ビッグレイク利用時の注意
 - クラブハウス前の駐車場は歴史公園の一般利用者専用とし、大会関係の車両は利用不可とする。
 - 送迎車は指定された台数以内とし、車のよく見える位置にチーム名を記入した駐車許可証を置くこと。
 - チームの荷物置き場(テント等)は、Aコート横の通路脇に、チーム同士の距離を空けて設置すること。
 - クラブハウスは、大会運営役員以外の立ち入りを禁止する。昼食や休憩などの目的でサロンを使用しないこと。ただし乳児や高齢者他、防寒を必要とする者のサロン使用は禁止しない。
 - Bコートの観戦用スタンドは試合を行うチームの関係者のみ入場可とする。ただし緊急事態等の場合はこの限りではない。

※ 4種委員会の申し合わせや競技規則を遵守し、社会常識に基づき行動すること。会場内外でチームに起因する問題が発生した場合、該当チームの代表者が責任を持って対応すること。